

プレスリリース

2021年6月15日  
泉佐野市  
Peach Aviation 株式会社

## 泉佐野市と Peach が包括連携協定を締結 ～官民の連携強化で、ポストコロナの地方創生を促進！～

泉佐野市(市長:千代松 大耕)と Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:森 健明)は、本日6月15日(火)、泉佐野市の観光振興および地域活性化などを図ることを目的に包括連携協定を締結しました。Peach が自治体と包括連携協定の締結をするのは初めてです。



写真: 締結式 千代松 大耕 泉佐野市長(左) Peach 代表取締役 CEO 森 健明(右)

Peachの就航3年目にあたる2014年以來、泉佐野市から職員をPeachに派遣する人事交流をはじめ、Peachの本拠点である関西空港の対岸エリアを盛り上げるため、イベントへの共同出展や同市の児童への航空教室の開催、昨年は特別定額給付金の市受付業務の一部をPeachが受託するなど、自治体と航空会社という垣根を越えて、様々な連携を行ってきました。

このたび、泉佐野市とPeachはポストコロナから2025年の大阪・関西万博を見据え、さらに連携を強化していくことで、早期に泉佐野エリアの再活性化と成長を加速できるよう、観光振興、地域活性化などを目的とした本協定を締結するに至りました。

本協定の締結について泉佐野市長の千代松 大耕は「関西空港へのPeach就航は観光客の増加や雇用創出など本市の活性化に大きく寄与しました。現在は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で本市も観光面で大きな影響を受けていますが、本協定により、本市とPeachが築き上げてきた関係をより一層強固にし、本市の観光振興、地域の再活性化の実現に向けて取り組んでまいります」と述べています。

また、Peach代表取締役CEOの森 健明は「就航以來、泉佐野市には多大なるご支援を頂いており心より感謝申し上げます。泉佐野市とはこれまで様々な分野での連携をしてまいりましたが、本協定の締結を契機に一層互いの連携を強化させ、地元、関西空港を拠点とする航空会社として、ポストコロナから大阪・関西万博を見据え、観光振興や市民サービスの向上につながる施策の促進など、中長期での泉佐野市の発展に貢献できるよう尽力してまいります」と述べています。

協定項目など本協定の詳細は次頁をご覧ください。

## <包括連携協定の内容>

### 1. 協定の名称

「泉佐野市と Peach Aviation 株式会社との包括連携に関する協定」

### 2. 協定項目

- (1)「観光振興」に関すること
- (2)「特産品振興」に関すること
- (3)明日を担う「人づくり」に関すること
- (4)「ブランド向上」に関すること
- (5)その他、地域の活性化に関すること

## <泉佐野市と Peach のこれまでの主な取り組み>

年月	取り組み内容
2014年4月～	市職員の Peach 派遣(人事交流の開始)
2014年7月	Peach の航空券が購入できるポイントを市がふるさと納税で取り扱い(返礼品の提供)
2015年3月	市内保育施設において航空教室及び遊具への Peach の機体デザイン塗装イベントの実施
2015年7月	市が発行する商品券の機内販売を実施
2015年8月～	大阪(関西)ー宮崎線就航イベントに市が参加
2016年3月	関西空港で市内保育施設の園児に対して航空教室等を開催
2016年7月	客室乗務員と市職員が共同で選挙啓発(投票への呼びかけ)を実施
2016年11月～	「石垣まつり」において、Peach と市が共同でブースを出展(2019年まで計4回)
2020年5月	特別定額給付金の受付業務を市が Peach へ委託

泉佐野市について (<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)

泉佐野市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。面積は約 56.51 平方キロメートル、人口は約 10 万人の都市で、平成 6 年 9 月に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21 世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

Peach について([www.flypeach.com/](http://www.flypeach.com/))

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。新千歳、仙台、成田、関西、福岡、那覇、そして中部国際空港の 7 か所を拠点空港として、35 機の機材で国内線 32 路線、国際線 17 路線を運航しています。